

逍遙館長のところ

「『目に見えない』と『目に見える（のに）』、の ところ」

4月1日 逍遙^{逍遙}

新年度・令和2年度がいよいよ今日からスタートしました。皆様方それぞれにとって、新年度が実り多い年になるといいですね。とは言っても、大方の皆様方は、依然 あの「目に見えない、未知の新型コロナウイルス」に対する不安や恐怖から、心穏やかならぬ日々が続いていることと思います。

「新型」と言うとは何か前向きなニュアンスを期待しますが、今回は全く真逆。「目に見えない、未知なるもの」への不安や恐怖が増幅する一方の魔物。ある意味「幕末期における西洋列強」が、大方の日本人にとってはそういう存在だったかもしれません。一方、薩摩藩の場合、否応なしに列強の実像を間近で見せつけられ（琉球等）、「目に見える存在」になっていたことが、その後の薩摩藩の対応に大きな違いをもたらした、とも言えそうです。

かくして逍遙館長は、今日も一日の仕事を終え、いつも通りのウォーキングコースで家路を辿り、「目に見える」存在との夕食づくりと語らいの中から、世の父ちゃん方の一人として、終わりなき情報収集に努めるのであります。

◎ 次回の予定「ただただ『それだけでいい』、の ところ」

